

安全・安心・住みよいまちづくり

ネットワーク

第 20 号

発行日 平成27年8月20日
発行 白石地区
ネットワーク協議会
責任者 情報交流部会長
菱沼洋一郎

札幌市白石区本通1丁目南2-32 電話 861-8270



就任のご挨拶

● 白石まちづくりセンター

所長 佐々木 久美

4月15日に白石まちづくりセンター所長に着任しました佐々木です。どうぞよろしくお願いいたします。

前職は、手稲区役所保健福祉部で、部の庶務を担当していました。さらにその前は、白石区役所地域振興課で、小中学生の就労体験事業「白石でっち奉公」や「月寒川にぎわい川まつり」、コンサート、タイルアートなどの事業を担当しておりました。また、町内会への加入を呼びかけるための取り組みもしていました。

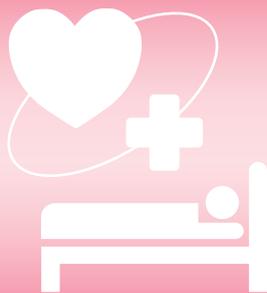
このたび、2年ぶりに再び白石区で勤務することができて、とてもうれしく思っています。

白石地区は、白石村発祥の地であり、歴史と伝統があふれる地域です。白石区内の歴史的な場所には、「白石歴しるべ」の標石板が設置されていますが、その多くが白石地区にあります。白石まちづくりセンターも、白石村役場の跡地に建てられたものであり、「歴しるべ」の標石板が立っています。

白石地区は、多くの先人の汗と努力によって、白石区の中心に発展しました。そのまちづくりの伝統は現在にも受け継がれ、町内会や社会福祉協議会、体育振興会、学校やPTAなど、さまざまな分野の100を超える団体で構成される白石地区ネットワーク協議会が、早い時期から活発に活動されています。

より多くの方に「白石地区に住んでよかった」と思ってもらえるようなまちづくりに向けてご尽力されている皆さまとともに、私もお役に立てるようお手伝いさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





見守り活動の 促進についての取組み

● 栄通二・三町内会長 大藤 昭男

我が町内会の世帯数は740世帯、町内会の加入世帯数は503世帯で、平成27年1月1日現在、町内会加入率は67.97%となっています。

740世帯の内、68世帯が1軒家で、672世帯がアパート・マンション（分譲マンションを含む）です。町内会には65歳以上100歳未満の高齢者は188名、その内1軒家で夫婦で生活している方は101名、1軒家で1人暮らしの高齢者が5名います。残る82名は、アパート・マンションに居住しています。この中には週2～3回デイサービスに行っている方が数名います。1軒家に居住する68世帯の内の86.5%が高齢者なのが実態です。

さて、本題の見守り活動ですが、約3年前に白石区東札幌の共同住宅で姉妹の2人が孤立死したことが全国的に話題となり、見守り活動の重要性が指摘され今日に至っています。

当町内会ではそれ以前より、防犯パトロールを通じて取り組んできましたが、白石地区社会福祉協議会より再三にわたり、見守り活動隊設立の要請があり、その都度役員会で議論を重ね、最終的には社協も取り組んでいるのだから、防犯パトロールの中

に見守り活動も取り入れて活動していこうという結論になり、昨年9月1日に設立しました。

活動の内容として、防犯パトロールでの「違法駐車」「不審者」の防止活動のほか、「郵便物がたまっていないか」「カーテンが開閉されているか」「昼でも電灯がつけっ放しになっていないか」「回覧板が戻ってきているか」等に注意し、おもに1軒家に住む5軒の独居老人宅を何気なく、週2回複数の役員で巡回している状況です。

また、特に現在の高層マンションはオートロックとなっており、チャイムを鳴らしてまでは確認をしておりますが、これからはマンション等の高齢者の見守りが課題だと思っています。

いずれにせよ、高齢者が高齢者を見守ることに変わりはない状況です。



■ 見守り活動（防犯パトロール）



見守り活動と 高齢者サロンの開設

● 本通親和会福祉推進委員会 事務局長 佐久間 公久

私たちの町内会では、原則70歳以上の一人暮らし世帯や病気がちな夫婦世帯を対象に見守り活動を始めて4年目になります。今年度は、見守り活動協力員が概ね3日に1回、自宅の様子を外から確認したり、月に1、2回訪問して安否確認や話し相手になっています。



■ スピताल会場で茶話会

一方、町内の対象世帯を含む高齢者の方々の孤独感の解消や閉じこもり予防、仲間づくりのために交流の場が必要ではないかということになり、昨年8月に町内会主催による高齢者サロンを立ち上げ、企画・運営は当委員会が行っています。

1年間の準備期間を経て、サロン名が「サロン和かば」に決まり、本年4月に札幌市社会福祉協議会の「ふれあい・いきいきサロン」に登録されました。この愛称には、

いつまでも若葉のように若々しく、和やかな会でありますようにとの願いが込められており、本年度は4月から10月までの7ヶ月間、原則として毎月町内2会場での開催を予定しています。

内容としては、茶話会や懐かしい「昭和の歌」を合唱したり、介護予防センターと地域包括支援センターによる介護予防体操やミニ研修会も随時取り入れています。また、数回は2会場の方々が一堂に会しての合同サロンとし、併せて芸能ボランティアによる演芸会（マジックや落語など）を開催して楽しんでいます。

このサロンが地域の方々が共に集い、交流の場として役立つことができればと心から願っています。



■ アルスタウン会場で地域包括支援センターによる研修

第31回白石地区 三者交流会

白石地区ネットワーク協議会
情報交流部会副会長 **大赤見 博**

青少年の健全育成を目指して行政・学校・地域の関係団体が連携し、情報を共有する三者交流会は、今年で31回目を迎えました。

平成27年7月10日（金）に行われた三者交流会では、白石区役所や札幌市スポーツ部、地域団体（13団体）、子ども会（4団体）、町内会（17団体）、小学校（6校）、中学校（3校）、高等学校（2校）から総勢101人の参加者を得て、「スポーツを通じた青少年の健全育成」について、一般社団法人 A - bank 北海道代表理



■ 熱く語る曾田雄志講師

事曾田雄志様による講演を聴く機会が得られました。

講師の曾田さんは元コンサドーレ札幌のレギュラー



■ 真剣に聴き入る皆さん

選手として活躍し、現在は、学校や地域などでアスリートの価値を多角的に活用した人材育成に取り組まれております。

こうした経験をふまえて、①自分で情報を収集し、②自分の勇気を出し、③自分で挑戦するように子どもたちへは意識付けることが大切であるという独自の青少年の育み方を展開されています。

そして大人としてのあり方については、まとめると「子ども対大人」ではなく、人間同士としての信頼関係を築き、子どもらしく育ていく環境づくりが大事であると主張されていました。

学校関係者（教師・父母の会）や子ども会の方々には、子どもたちと日常的に直接関わっておりますので、新しい視点が参考となったものと思われま

行事予定

9月9日（水）

地域の支え合い活動推進会議

会場：白石会館

9月13日（日）

第12回 白石地区いきいき健康まつり

会場：白石小学校体育館及びグラウンド

10月3日（土）

第8回 まちづくりふれ愛音楽会

会場：白石中学校体育館

1月予定

第11回 白石・雪であそぼう in 南郷丘公園

会場：南郷丘公園

編集後記

広報誌「ネットワーク」も発刊以来20号をお届けすることが出来ました。これもひとえに連合町内会、ネットワーク会議各部会長、各種団体の皆様のご協力の賜と感謝申し上げます。

今年も半年が過ぎましたが、相変わらず暑い今日この頃です。皆様には地域の活動にご活躍されておられる事と思いますが、健康には留意されますようお願い致します。

今年度も来る10月3日（土）に「まちづくりふれ愛音楽会」を開催する予定です。皆様にはなにかとお力をお借りすることと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。
情報交流部会一同